

平成29年6月 データから見た業界の動き

■ 概 況

平成29年6月の山梨県内の全業種のD I 値は、前年同月比では売上高12ポイント改善したが、収益状況、景況感共に4ポイント悪化した。

前月比で比較すると売上高は6ポイント、収益状況は2ポイント、景況感は10ポイントそれぞれ悪化する結果となった。

6月になり官公庁発注の仕事はあるが、人手不足の影響が広がりを見せており技能・技術者の不足により受注に充分に応えられない企業もあるとの報告がみられた。

経営者の高齢化による事業承継問題、製造業や建設業等の分野に精通した知識労働者、専門職の不足などは深刻化しており、人材不足・人材育成は商業・サービス業含め全業種の課題となっている。

製造業の一般機器業においては設備投資の動きがあるが、需要の減少と併せ売上も減少している。非製造業においては7月以降は公共事業が増え始めるが、大型の物件数は昔に比べて減少しており、中小企業の先行きは依然として不透明感が強い。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製 造 業

| | |
|---------------|--|
| 食料品 (水産物加工) | ギフト関係は低調で前年同月比85.1%。業務用食材の販売も大口先の取引量の減少から91.3%。全体の売上は前年同月比87.4%と大幅減。 |
| 食料品 (洋菓子製造) | 自社製品は専門店、量販店とも前年並み。輸出は台湾向けが好調だったがその他は不振で前年比98.2%。OEMは焼き菓子が前年並み。冷凍ケーキは順調で全体の売上は前年同月比99.5%と何とか前年並みを維持。 |
| 食料品 (麺類製造) | 4月10日の「ほうとうの日」に制定されたことから、季節や天候に影響を受ける観光客の消費のほか、一般家庭での消費が増えるような事業を検討していく。 |
| 食料品 (酒類製造業) | ワイン消費は停滞気味。 |
| 繊維・同製品 (アパレル) | 売上は減少している。 |
| 窯業・土石 (砂利) | 大型公共工事のある地域を除き骨材需給の動きは少ない。 |
| 窯業・土石 (山碎石) | 今年度は後半から関東エリアの公共工事が発注され景気が上向く期待はあるが、現状は厳しい。 |
| 一 般 機 器 | 製造装置の需要が伸び半導体市場の好景気は来年まで続くと予想されるが、昨年の円高等で収益下振れのマイナス影響があり中小企業には厳しい状況。 |
| 一 般 機 器 | 組合内で人材不足が顕在化しており、パートや派遣社員で対応している。受注量の増加から設備の稼働も上向き、工場の拡張やリニューアルの動きもある。 |
| 電 気 機 器 | 組合員以外の同業者の廃業があり、組合員に対して価格競争の自粛を呼びかけている。 |

| | |
|---------|--|
| 電 気 機 器 | 航空機機体部品製造業者はMRJ(国内旅客機)の納期の遅れ等で生産調整が今後も続くといわれ厳しい状況。 |
|---------|--|

● 非 製 造 業

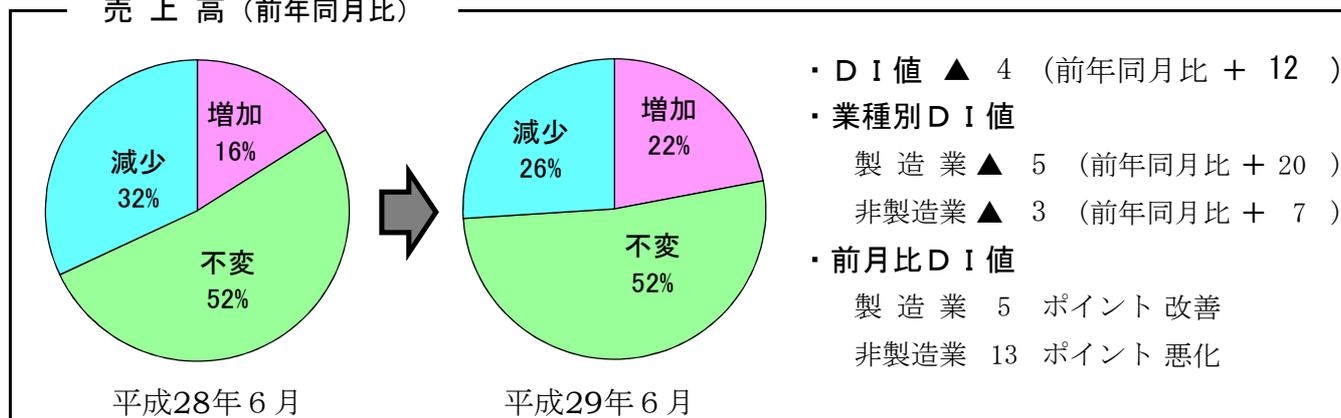
| | |
|------------|---|
| 卸売（ジュエリー） | 6月に開催された香港フェアではある程度の売上があったが、商品需要は高額品から中低額品に移行しつつある。 |
| 小 売（青果） | 天候不順により野菜等の出荷量が安定しなかったが、収益は前年比より4.6%増加。 |
| 小 売（食肉） | 6月は大きな伝染病もなく市場は安定していた。県内銘柄豚である甲州富士桜ポークの出荷頭数が減少したため、やや高めの相場。 |
| 小売（電機製品） | 国が推進するスマートライフ推進活動（健康に日々を過ごす）を活用し、スーパー猛暑への対策として省エネ家電の推進強化へつなげて行く。 |
| 小 売（石油） | 原油価格下落に併せ卸売価格、小売価格とも下落し、組合員のマージンを圧迫。 |
| 商 店 街 | 組合で1月に発行した商品券が消費者に評判が良く、今年度事業においても継続計画でいる。売上低迷から地元イベントに併せてセールを開催する予定。 |
| 宿 泊 業 | 宿泊は前年並みの件数があった。 |
| 美 容 業 | 猛暑予報から髪を短くする人が増えてくる。美容院の競合店が多い中で客単価は上がらないが、来店数が少しずつ増加している。 |
| 警 備 業 | 交通誘導警備は公共事業の依存が高いため4～6月の年度初めは仕事量が極端に少なくなることから、公共事業の発注の年間を通しての平準化を期待。警備員の高齢化、人材不足から契約先の要望に十分に答えられない状況。人材確保が課題。 |
| 建設業（総合） | 6月の県内公共工事動向は、前年同月比で件数0.5%微増、請負金額は12%減少。6月末累計では件数は同数、請負金額は13%減少。 |
| 建設業（型枠） | 前月に引き続き工事量が増加した。この現象は年度内は続くと考えられる。 |
| 建設業（鉄構） | 技能者・技術者の人材不足がある。工事量や稼働率も企業格差がある。首都圏を中心とした物件に依存する傾向が続いている。 |
| 設備工事（電気工事） | 公共の小さな工事は出てきたが、目立つような中・大型の工事はない。予定工事をみても、昔ほどの数はない。 |
| 設備工事（管設備） | 技術者の半数以上が45歳を超えており、将来さらに高齢化と技術者不足が懸念される。道路工事においては交通誘導員の確保が厳しい状況である。 |
| 運輸（タクシー） | 夜の乗客数が少なく、先行き不透明。 |
| 運輸（バス） | 車両を減らしながら、仕事量を増やす傾向にある。人材確保に力を入れている。 |
| 運輸（トラック） | 「トラック輸送における取引環境・労働時間改善山梨地方協議会」において実施したパイロット（荷主の理解を得て荷物を待つ待機時間の短縮に取り組んだ）事業の成果が安倍首相から「素晴らしい」と評価された。 |

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

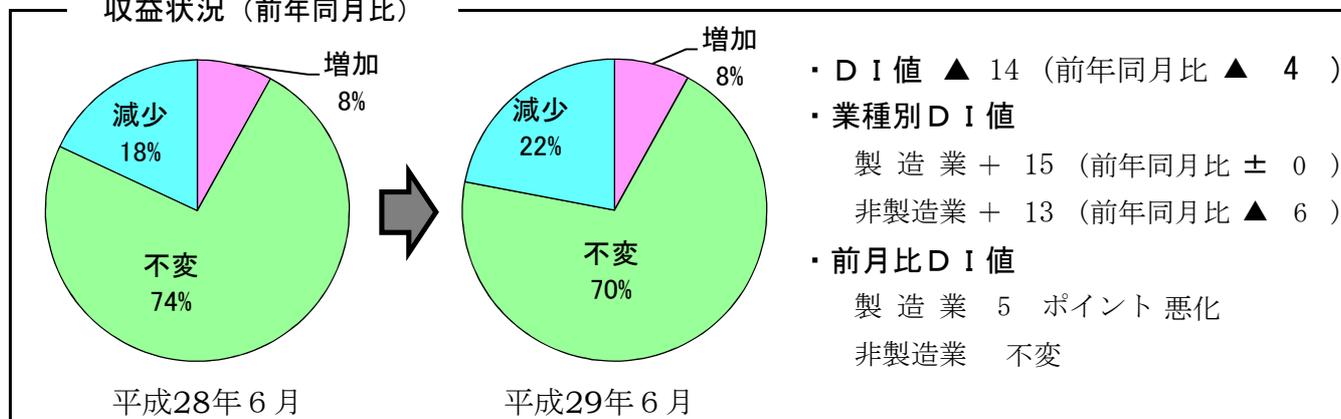
| 対前年・前月・当月 | 製 造 業 | | | 非 製 造 業 | | | 合 計 | | |
|-----------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 2016/6 | 2017/5 | 2017/6 | 2016/6 | 2017/5 | 2017/6 | 2016/6 | 2017/5 | 2017/6 |
| 売 上 高 | -25 | -10 | -5 | -10 | 10 | -3 | -16 | 2 | -4 |
| 収 益 状 況 | -15 | -10 | -15 | -7 | -13 | -13 | -10 | -12 | -14 |
| 景 況 感 | -25 | -5 | -20 | -7 | -10 | -17 | -14 | -8 | -18 |

※（（良数値÷対象数）×100）－（（悪数値÷対象数）×100）＝D.I値

売 上 高（前年同月比）



収 益 状 況（前年同月比）



景 況 感（前年同月比）

